

2019 年度  
第 3 回 北海道 CG 人材育成委員会  
議 事 録

会議日付： 2019 年 11 月 1 日（金）

会議時間： 17：00～18：00

会議場所： 日本工学院北海道専門学校 1 号館会議室

議長： 橋本 直樹

書記： 川東 博之

出席者： 小林 隆志（exsa 株式会社 札幌スタジオ所長）

小椋 透（株式会社 G-Style CG 制作部モーションリードデザイナー/広報）

篠原 たかこ（公益財団法人画像情報教育振興協会 教育事業部部長）

戸田 隆元（株式会社ボーンデジタル 取締役）

佐藤 幸夫（学校法人片柳学園 日本工学院北海道専門学校 教育部 課長補佐）

田中 政史（学校法人美専学園 北海道芸術デザイン専門学校 マルチメディアデザイン学科長）

橋本 直樹（吉田学園情報ビジネス専門学校 副校長）

川東 博之（吉田学園情報ビジネス専門学校 主任）

欠席者： 安保 英樹（株式会社アレクト 取締役副社長/CTO）

柏尾 典秀（学校法人栗原学園 北見情報ビジネス専門学校 理事長）

千葉 一俊（吉田学園情報ビジネス専門学校 学科長）

井畑 弘恵（吉田学園情報ビジネス専門学校 事務部）

北村 吉正（吉田学園情報ビジネス専門学校 教員）

※小林隆志 氏・小椋 透 氏については、業務の関係上途中退席となった

## < 議 事 録 >

### 1. CG 制作業務実践授業について

- (ア) 当初予定していたスケジュールに遅れが生じており、本委員会主幹校の吉田学園情報ビジネス専門学校から、企業・学校への周知・連絡が遅れたことへの謝罪が行われた。
- (イ) 上記理由により、株式会社アレクト安保氏が実施する、【アニメーション】課題の学生向け説明会実施が、大幅に遅れてしまったことが説明された。
- (ウ) 配布資料を元に、各校の学生取り組み状況を各学校担当委員より説明され、共有された。
- ① 日本工学院北海道専門学校
    1. 現在行われている授業の中で、各学生が選択した課題に取り組んでいるとのこと。
  - ② 北海道芸術デザイン専門学校
    1. 現在行われている授業の中で、各学生が選択した課題に取り組んでいるとのこと。
    2. 【プロップモデリング】課題については、改めて今回のレギュレーションを確認し、複数選択している学生については、選択課題を一つに絞ることを説明することとした。
  - ③ 吉田学園情報ビジネス専門学校
    1. 【アニメーション】課題の説明会実施が、上述のとおり遅れたことで作業開始が遅れていることが説明された。
- (エ) 中間評価期間について、配布したスケジュールを元に情報共有された。尚、中間評価期間については当初予定していた 11/5～11/8 から、実施企業ごとの修正日程について説明され共有が行われた。
- ① 【アニメーション】課題 各校共通で 11/18～11/22 の週に変更。
  - ② 【プロップモデリング】課題 以下の通り学校ごとに設定。
    1. 11/7 北海道芸術デザイン専門学校 10 名
    2. 11/12 北海道芸術デザイン専門学校 10 名
    3. 11/15 北海道芸術デザイン専門学校 2 名・日本工学院北海道専門学校及び吉田学園情報ビジネス専門学校全学生
  - ③ 【エフェクト】課題 予定通り 11/5～11/8 で設定。
    1. 北海道芸術デザイン専門学校については、諸事情による遅れが発生しているため、11/11～11/15 に変更。
- (オ) 評価基準について、担当企業 3 社による打ち合わせを行った結果、企業ごとに評価方法を設定し、実施することで決定したことが説明され、共有された。

### 2. 教員向け最新 CG ツールセミナーについて

- (ア) すでに実施済みの、Houdini 講座、Substance Designer 講座について実施報告書を元に情報共有が行われた。
- ① Houdini 講座について（質問・意見）
    1. プログラミングスキル、物理・数学の知識が必要なツールであり、学生が習熟するためには教育課程の見直しが必要である。

2. 戸田委員より今年度数多くの専門学校が導入していることが紹介された。指導教員も東京・大阪だと確保しやすいことが原因と考えられる。但し、教育課程が3年課程・4年課程を保有している学校が目立つとのこと。

② Substance Designer 講座（質問・意見）

1. 戸田委員より、一昨年よりかなりの教育機関が導入していることが説明された。

2. Substance Painter に関しては、ツールの知識よりも物理ベースレンダリングに関する知識を身につけることが重要であるため、今回の実施セミナーからは割愛し、今後実施内容を検討することとした。

(イ) ZBrush 講座、Shotgun 講座については、11月30日（土）の実施で確定とし、実施方法について共有された。学校、企業へ改めて告知をし、参加者を集計することとした。

3. 専門学校生向け 3DCG フォローアップ講座について

(ア) 「モーショ」講座について

① 配布資料を元に説明がされ、情報共有された。

(イ) 「モデリング」講座について

① 配布資料を元に説明がされ、情報共有された。

(ウ) 日本工学院北海道専門学校では、上記講座が未実施のため、実施可否及び時期について改めて、学内で検討することとした。

4. その他

(ア) 篠原委員より、CG-ARTS 主催のアニメーション実技試験について資料が配布され情報共有された。

以上